

Our DNA

挑戦するDNA、変化を後押しする価値観

ダイセキは、挑戦するDNAと「発想・構想・構造・実行」の経営理念に裏打ちされた知恵と工夫と行動力で変革を続けてきました。

IDEA

発想

予測と先見性から一つの「発想」が生まれ――

STRUCTURE

構造

その「構想」の実現のため組織、その他「構造」を組み立てる――

それに対して
種々の「構想」を練る
CONCEPT

構想

そして「実行」に移す
ACTION

実行



ダイセキの経営理念

ダイセキにとって経営理念はイノベーションの源泉として重要なものです。創業者である伊藤治雄が確立した「発想・構想・構造・実行」は、ダイセキの経営や事業展開の根幹に据えられています。社員ひとりひとりが実践する行動規範として、創業時から受け継がれています。

ダイセキのルーツ

創業者の伊藤治雄は、戦前・戦後の困難と大きな社会変化を捉えて、ビジネスを発展させてきました。事業転換による挫折と成功の実体験から、「発想・構想・構造・実行」という経営理念が自然に生み出されました。社会変化に対応する精神は今も受け継がれ、自由な発想と挑戦を促す企業風土が培われています。この精神は、廃油リサイクルをはじめ環境ビジネスを切り拓く企業文化の源泉となっています。

ダイセキならではの価値観 「知恵と工夫と行動力」

ダイセキにおける「知恵と工夫と行動力」は、経営理念「発想・構想・構造・実行」と深く結びついた独自の価値観であり、長年にわたり環境・リサイクル事業を支えてきた原動力です。「知恵」を働かせて本質的な解決策を見出し、「工夫」によって最適な方法を生み出します。そして「行動力」をもって具体的に実行し、これまでに多くのイノベーションを生み出してきました。



「知恵と工夫と行動力」で成長する 循環型ビジネスモデル

現代社会において環境問題がますます重要視される中、ダイセキは単なる廃棄物処理の枠組みを超えた全く新しいビジネスモデルを生み出しています。その鍵となるのは「知恵」と「工夫」、そして「オールダイセキ」の「行動力」です。環境保全と経済合理性の両立という難題に正面から向き合い、これまで価値がないと見なされてきた産業廃棄物を、独自の技術やネットワークを駆使して新たな価値を持つ資源へと蘇らせています。